

日時…二〇二一年十一月十七日(水) 午後六時から六時半まで
場所…中央棟第一講義室

奥村雄樹 特別上映

《ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー》

内容…ジュン・ヤンが二〇一一年十一月十七日に同講義室で行った講義
通訳…小林禮子 企画…奥村雄樹(当時博士後期課程三年) 対象…全学年
協力…絵画科油画第二研究室、ミサコ&ローゼン

※この上映会は単位取得とは関係ありません。

※右記の講義が藤井光によって撮影され、奥村の映像作品の素材として使われました。字幕は荒木悠。

※学外の方は要予約 <https://2ken-oil.geidai.ac.jp/> です。

ジュン・ヤン Jun Yang 略歴 (2011年当時)

1975年中華人民共和国生まれ。1979年にオーストリアに移住、現在はウィーン・台北・横浜を拠点に活動。複数の文化・言語・国家の間を往来した自身の経験をもとに、個人的あるいは集団的な記憶の不確かさやアイデンティティの揺らぎなどをテーマとして作品を制作。映像作品を多く手がけるほか、台北コンテンポラリー・アート・センターの設立に関わるなど、展覧会という枠を越えて様々なプロジェクトを展開する。

主な展覧会に、ヴェネチア・ビエンナーレ 2005、リヴァプール・ビエンナーレ 2006、台北ビエンナーレ 2008など。2010年には、シェウゴアーツ(東京)にて個展「忘却と記憶についての短い物語」を開催。現在、Art Sonje Center(ソウル)にて「City Within the City」展に参加中。また、各地のキュレーター・批評家・翻訳家を巻き込みながら、様々な綴りで表記された自身の名前のひとつひとつを冠した複数のアーティスト・ブックの制作を進めている。